

第21期 決算公告

令和4年3月31日

東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号  
リーフラス株式会社  
代表取締役 伊藤 清隆

貸借対照表（令和3年12月31日現在）

（単位：千円）

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
<b>流動資産</b>	<b>1,522,650</b>	<b>流動負債</b>	<b>1,737,156</b>
現金及び預金	970,493	買掛金	138,422
売掛金	354,624	短期借入金	600,000
商品	31,920	一年内返済長期借入金	186,884
貯蔵品	18,197	リース債務	9,568
前渡金	49,882	未払金	135,847
前払費用	90,562	未払費用	354,374
短期貸付金	778	前受金	76,194
未収入金	7,504	預り金	8,585
仮払金	6,143	賞与引当金	51,600
貸倒引当金	△8,716	未払法人税等	13,714
その他	1,259	未払消費税等	149,644
<b>固定資産</b>	<b>628,662</b>	その他	12,320
<b>有形固定資産</b>	<b>89,474</b>	<b>固定負債</b>	<b>238,296</b>
建物附属設備	83,849	長期借入金	203,956
工具・器具・備品	38,881	リース債務	8,393
リース自動車	22,483	資産除去債務	25,947
リース器具備品	20,204		
減価償却累計額	△75,943	<b>負債合計</b>	<b>1,975,453</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>132,467</b>	(純資産の部)	
商標権	627	<b>株主資本</b>	<b>176,347</b>
ソフトウェア	128,655	<b>資本金</b>	<b>80,000</b>
顧客関連資産	3,184	<b>資本剰余金</b>	<b>424,000</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>406,719</b>	資本準備金	45,000
子会社株式	88,000	その他資本剰余金	379,000
投資有価証券	95,652	<b>利益剰余金</b>	<b>△327,652</b>
出資金	100	<b>その他利益剰余金</b>	<b>△327,652</b>
長期貸付金	2,974	繰越利益剰余金	△327,652
長期前払費用	3,109	(うち当期純利益)	( 124,688 )
敷金	113,272	<b>評価・換算差額等</b>	<b>△864</b>
差入保証金	500	その他有価証券評価差額金	△864
長期繰延税金資産	103,109	<b>新株予約権</b>	<b>375</b>
		新株予約権	375
<b>資産合計</b>	<b>2,151,312</b>	<b>純資産合計</b>	<b>175,858</b>
		<b>負債・純資産合計</b>	<b>2,151,312</b>

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

重要な会計方針

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式 …移動平均法による原価法

その他の有価証券

時価のあるもの…期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法によって処理し、売却原価は移動平均法により算定）

時価のないもの…移動平均法による原価法

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法を採用しています。（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定しています。）

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産…定率法を採用しています。なお、平成19年4月1日以降取得した建物（附属設備を除く。）及び

平成28年4月1日以降取得した建物附属設備並びに構築物については、定額法を採用しています。

② 無形固定資産…定額法を採用しています。

③ リース資産 …所有権移転外ファイナンスリース取引に係るリース資産については、リース期間定額法を採用しています。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金…債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により貸倒懸念債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しています。

② 賞与引当金…従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

① 消費税等の会計処理…消費税等の会計処理は税抜経理方式を採用しています。